

日本銅学会第 66 回講演大会 見学会のご案内

2026 年 9 月 8 日

第 66 回講演大会

実行委員会

日本銅学会第 66 回講演大会の一環として、下記のとおり見学会を実施いたします。

今回は、小樽市の「株式会社深川硝子工芸」と「北一ヴェネツィア美術館」を見学します。

小樽市は、港町として発展する中でガラス文化が根付き、現在では「ガラスの街」として広く知られています。

小樽市に拠点を置く「株式会社深川硝子工芸」では、職人の技を生かしたガラスづくりが続けられています。特に、色ガラスを重ねてカットを施す「小樽切子」は、透明感と深みを併せ持つ独自の美しさを有し、小樽の工芸文化を象徴する存在の一つとなっています。また、ガラスの着色には銅をはじめとするさまざまな金属が用いられ、スカイブルーや赤など、多彩な色彩を生み出しています。

さらに、小樽とヴェネツィアには、「運河のある街」「ガラス工芸が盛んな街」「海上貿易によって栄えた歴史を持つ街」など、多くの共通点があります。「北一ヴェネツィア美術館」では、ヴェネツィアガラスの展示に加え、ガラスとともに繁栄したヴェネツィア貴族の暮らしや、伝統的なガラス製作技法が紹介されており、小樽のガラス文化を国際的な視点から知ることができます。

記

- ・実施日 : 2026 年 10 月 23 日 (金)
- ・見学場所 : ①株式会社深川硝子工芸 (<https://fukagawaglass.com/>)
②北一ヴェネツィア美術館 (<https://venezia-museum.or.jp/>)
- ・集合場所 : JR 小樽駅出口
- ・集合時間 : 13:05 (昼食を済ませてご集合ください)
- ・見学時間 : ①株式会社深川硝子工芸 約 90 分
②北一ヴェネツィア美術館 約 60 分
- ・解散予定 : JR 小樽駅出口 16:05 頃
- ・参加資格 : 講演大会への参加者 (見学会のみの参加はできません)
- ・参加費 : 無料
- ・定員 : 20 名 (申込み多数の場合は調整させて頂く場合があります)
- ・参加申込 : 講演大会への参加申込の際に発行された「①受付番号」、「②名前」、
「③当日連絡可能な携帯電話番号」を下記、事務局まで E-mail で
ご連絡ください。日本銅学会 事務局 : dou-gakkai@copper-brass.gr.jp
- ・申込締切 : 10 月 9 日 (金)

以上